

プルサーマル計画を中止して下さい 美浜原発を廃炉にして下さい 原発の耐震性について公開討論会を開いてください 関西電力への申し入れ

若狭連帯行動ネットワーク

今年8月に、貴社は、MOX燃料集合体16体をフランスのメロックス社に注文をしたものの12体しか使い物にならないと申請し直しました。そして、国へ12体だけ使うと申請変更をしました。16体のうち4体も使い物にならないというお粗末な品質の製造工程であるのに、12体は大丈夫であると、貴社はどのように評価したのでしょうか。きちんとした説明をすべきです。

2010年度実施を目指す高浜3・4号のプルサーマルにおいて使用するMOX燃料の製造過程で、原子燃料工業とメロックス社がペレットの自主検査の一つを行ったところ、「一部のペレットで目標値の範囲内に収まらない測定値を示すものがあった」ことから、貴社が、当該のペレットの採用をやめたとされています。

過去にも貴社がイギリスのBNFLに発注したMOX燃料のペレットの外径データ測定で、データねつ造があったことを自ら見抜けませんでした。今回も、貴社自ら5年前と昨年の2度にわたってメロックス社の品質保証システム監査(事前監査)を行いながら、このような欠陥だらけの工程であることを見抜けませんでした。メロックス社に対して「はじめからやり直さない」という厳しい姿勢を示すこともなく、幕を引こうとしています。

貴社にとって最重要な課題は、ペレットの品質欠陥が異常に多いという工程の欠陥を今回発見しながら、メロックス社から十分な情報提供もないまま工程改善をメロックス社まかせにしていること、これらが品質監査上大問題であることに気づいてさえいないこと、品質保証をすべてなれあいでも済ませようとする関電の企業体質にこそ重大な問題があるのです。

もともとウラン燃料以上に危険なプルトニウムを混ぜるMOX燃料の特性に関わる問題であり、その品質に関して「目標値の範囲内に収まらない」ということは、重大な事態なのです。メロックス社がつくった12体の燃料集合体は、果たして安全であると誰が保証できるのでしょうか。メロックス社に対して、契約を破棄し、プルサーマル計画を撤回すべきです。

高浜原発にMOX燃料が入り、また30年を超える美浜原発に、地震の揺れなどが加われば本当に原発を安全に止めることなどできるのでしょうか。原発の周りで活断層がつながり、大きな地震が起こることを想定して地震動評価をやり直さねばならないという事態になっています。

私たちは貴社に対し、以下のことを強く求めます。

美浜1, 2, 3号炉の全原発の閉鎖を求めます！

MOX燃料製造欠陥の問題から安全性と貴社の品質保証体制の欠陥が改めて問われています。プルサーマル計画を中止してください！

和歌山県内等で中間貯蔵施設の立地計画を中止してください！

貴社の原発と耐震問題について公開説明会を開いてください！

以上